

◆施工上の注意事項

1. 反応硬化型の塗料ですから配合比は、A液:B液=1:7(重量比)の割合で正確に混合して下さい(重量比を厳守)。特に小分けする時には、ハカリを使用し、正確に計量して下さい。
2. A液はゴムペラ等を使用して、缶の隅々まで充分に取り出して下さい。
3. A液をB液に混合し、電動攪拌機にて攪拌して下さい。その後、A液の缶中に塗料全量に対して規定希釈量の水道水を入れ、よく振って水道水にて溶かし再度混合、攪拌して下さい。
4. 既定の使用量を2回、中毛ローラーにて塗布して下さい。
5. 本塗料は水性塗料ですので、気温及び躯体温度5℃以下、湿度80%以上での施工は避けて下さい。硬化時間、硬化後の性能は、施工時の温度に影響されます。
6. 塗装後、翌日まで降雨あるいは降雪等の心配がある場合は、施工を避けて下さい。
7. 冬期の施工は、夜露、結露の発生が考えられますので、午後2時以降の作業は避けて下さい。
8. 夜露、高湿度で、被塗物が結露している場合は、ウエス等で拭き取り、乾燥してから施工して下さい。
9. 脆弱部、砂、ゴミ、ホコリ、チョーキング層は完全に取り除き、高圧洗浄機で除去後、充分乾燥させて下さい。
10. 混合したトップコートの可使時間は90分(23℃)ですので、可使時間以内に作業を終了して下さい。特に夏場、気温上昇により、可使時間が短くなります。直射日光が当たる場所での保管は避けて下さい。
11. トップコートの塗布量を厳守して下さい。また、たまりを作らないで下さい。塗料のたまりができますと、ひび割れを生じる事があります。
12. 動植物に影響を及ぼす可能性がありますので、施工時および施工後の換気を充分に行ってください。
13. 旧塗膜面がある場合は、密着不良部分を完全に除去してから施工して下さい。または、当社にご相談下さい。

◆取扱い上の注意事項

1. 開缶後は、速やかに使い切ってください。
2. 材料は、冷暗所に保管して下さい。また、施工現場での保管は、雨等が当たらないようにし、外部の野積みは避けて下さい。
3. 目に入った場合は、多量の水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けて下さい。
4. 直接皮膚に触れないよう充分注意して下さい。もし触れた場合は、ウエス等で十分に拭き取り、中性洗剤で洗って下さい。
5. 材料の保管、取扱いについては、消防法、労働安全法、その他に基づき充分な管理をお願いします。
6. 塗料、塗料容器、塗装具を廃棄する時は、産業廃棄物として処理して下さい。
※ アレルギー性等の特異体質、皮膚過敏症や呼吸器系疾患を有する人は、取扱いを避けて下さい。(呼吸困難や喘息を引き起こす恐れがあります。) 容器に表示されている注意事項をご参照の上、安全に施工して下さい。
※ 詳細な内容が必要な場合には、安全データシート(SDS)をご参照下さい。
※ SDSは弊社HPにて閲覧、ダウンロードいただけます。トップページから製品情報のページにアクセスし、各種SDS一覧をご参照下さい。

●お問い合わせは・・・

東日本塗料株式会社

本社/〒124-0006 東京都葛飾区堀切3-25-18 TEL.03(3693)0851(代) FAX.03(3697)2306
 埼玉工場/〒347-0017 埼玉県加須市南篠崎1-13 TEL.0480(65)1515(代) FAX.0480(65)1518
 仙台営業所/〒983-0045 仙台市宮城野区宮城野1-4-20 TEL.022(291)7372(代) FAX.022(291)7320
 新潟営業所/〒950-0871 新潟市東区山木戸3-7-9 TEL.025(273)5749(代) FAX.025(274)6730
 静岡営業所/〒422-8037 静岡市駿河区下島128-1 TEL.054(238)8061(代) FAX.054(238)8063

F☆☆☆☆

無鉛

非危険物

非トルエン・キシレン

防藻・防カビ

艶有

水性

防水材保護・美装用
2液水性ハルスハイブリッド型

エコトップ

エコトップ遮熱

エコトップ

エコトップ遮熱

F★★★★

防水材保護・美装用2液水性ハルスハイブリッド型遮熱トップコート

■特長

1. 遮熱性 日射反射率クールグレー色で82%

遮熱性能を示す日射反射率が常備色のクールグレーで82%と高い反射能力で屋上やベランダなど表面温度の上昇を抑えます。

参考:日射反射率	エコトップ遮熱	フォックスグレー	65%
	エコトップ	フォックスグレー	20%

2. 高耐候性

耐候形1種に相当する優れた耐候性を発揮します。
長期間にわたり建物や構造物を保護する事で、美観を守ります。

3. 環境配慮型塗料

環境に配慮した製品設定を行っています。

4. シックハウス対策

シックハウスの要因とされる13化学物質(厚生労働省・室内濃度指針値)、文部科学省(学校環境衛生の基準:6物質)が対象としている物質を使用していません。

5. 低VOC

TVOC(総揮発性有機化合物)含有量を1%未満に抑えた、W-1に適合する、人と環境にやさしい塗料です。

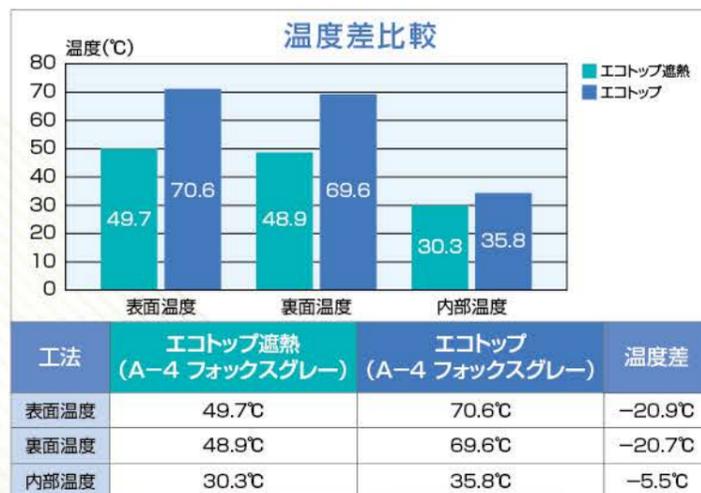
■遮熱効果

遮熱性能評価方法

金属板にエコトップ遮熱及びエコトップを塗布し、測定温度差で評価。

試験条件

- 断熱材ボックス(断熱材40mm厚)使用
- 赤外線照射距離/20cm
- kett赤外線ランプ/100V400Wを1時間照射
- 表面、裏面、内部温度測定
- 外気温23.0℃



※内部温度差が、5℃以上となり、遮熱効果があります。
※エコトップ遮熱は、室内の温度上昇及び建物の熱劣化を防ぐことができます。

■用途

- 1 官公庁、役所関係等のウレタン防水材工事用のトップコート
- 2 民間のベランダ、バルコニー等のシックハウス対策が必要な改修現場
- 3 ウレタン塗膜防水、合成ゴム(加硫ゴム)シート防水、塩ビシート防水、砂付アスファルト防水改修用のトップコート

■色相

常備色6色(エコトップ)

- | | | |
|---------------|---------------|----------------|
| A-1 マスカットグリーン | A-3 フレッシュグリーン | A-5 サンドベージュ |
| A-2 エメラルドグリーン | A-4 フォックスグレー | A-6 スカーレットブラウン |

常備色2色(エコトップ遮熱)

- A-4 フォックスグレー

クールグレー
(L値:80.0相当、FN-80相当)
※エコトップでは調色扱いとなります。

指定色

※同一製品でも生産ロットが異なると、常備色・調色品共に色が異なる場合があります。特に、材料追加注文などで異なるロットの製品を塗り継ぎした場合、仕上がりに支障をきたす可能性がありますので、施工の際は、同一ロット、同一方法で、見切りの良いところまで仕上げてください。

エコトップ

F★★★★

防水材保護・美装用2液水性ハルスハイブリッド型トップコート

■特長

1. 高耐候性

耐候形1種に相当する優れた耐候性を発揮します。
長期間にわたり建物や構造物を保護する事で、美観を守ります。

2. シックハウス対策

シックハウスの要因とされる13化学物質(厚生労働省・室内濃度指針値)、文部科学省(学校環境衛生の基準:6物質)が対象としている物質を使用していません。

3. 低VOC

TVOC(総揮発性有機化合物)の含有量を1%未満に抑えた、W-1に適合する、人と環境にやさしい塗料です。

4. 防藻・防カビ

防藻・防カビ性に優れ、長期間効果を持続します。

■製品仕様

品名	容量			配合比		標準使用量	塗装面積
	A液	B液	セット	A液	B液		
エコトップ遮熱	1.5kg	10.5kg	12kg	1	7	0.12kg×2回塗り	50㎡
	0.5kg	3.5kg	4kg				16㎡
エコトップ	1.5kg	10.5kg	12kg	1	7	0.12kg×2回塗り	50㎡
	0.5kg	3.5kg	4kg				16㎡

■性状:一般物性

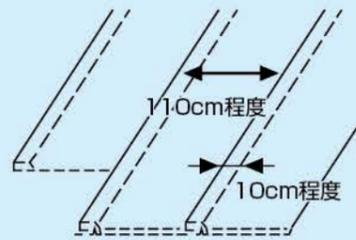
試験項目	エコトップ遮熱	エコトップ	試験条件
外観	A液: 透明粘稠液 B液: 着色粘稠液	透明粘稠液 着色粘稠液	
鏡面光沢度	80以上	80以上	JIS K5600 入射角60度
粘度A-B混合液	3,500mPa-S	3,000mPa-S	B型粘度計 23℃
密度A-B混合液	1.1	1.1	JIS比重計 23℃
可使用時間	90分	90分	23℃
上塗可能時間	4~48時間	4~48時間	23℃
歩行可能時間	12時間	12時間	23℃
促進耐候性	耐候形1種相当	耐候形1種相当	JIS A6909 耐候性 B法
引っかかり硬度	B	B	JIS A5600 鉛筆法
耐屈曲性	合格	合格	JIS A5600 円筒形 マンドレル法 3mmφ
付着性	100/100	100/100	JIS K5600 クロスカット法 モルタル板
耐カッピング性	合格	合格	JIS K5600 7mm
耐汚染性	良好	良好	粉状カーボン浸漬
冷熱サイクル	異常なし	異常なし	-20℃~70℃(各1時間 10サイクル)
伸び率	150%	145%	JIS ストログラフR型 23℃
引張強さ	4.0N/ml	4.0N/ml	JIS ストログラフR型 23℃
引裂強さ	800N/cm	800N/cm	JIS ストログラフR型 23℃
耐水性	異常なし	異常なし	水道水 7日間浸漬
耐塩水性	異常なし	異常なし	飽和食塩水 7日間浸漬
耐アルカリ性	異常なし	異常なし	飽和酸化カルシウム 7日間浸漬
耐溶剤性	異常なし	異常なし	トルエン 24時間浸漬
ホルムアルデヒド放散等級	F★★★★	F★★★★	JIS K5601-4-1

シート防水

合成ゴム(加硫ゴム)シート防水



合成ゴム(加硫ゴム)シート



判別方法

- ゴム弾性があり、表面に細かいシボ(凹凸)がある。
- ラッカーシンナーを垂らしても、変化しない。
- 上塗り材でシルバー等水性塗料が塗布されている場合が多い。

※新設合成ゴム(加硫ゴム)シートおよび加硫ゴム系のカラーシートの場合は、密着力が劣る為、塗装は避けて下さい。

水性エナメル
の
トップコート

水性シルバー系
の
トップコート

シートトップ100シルバー

エコトップ・エコトップ遮熱の
施工は避けて下さい。

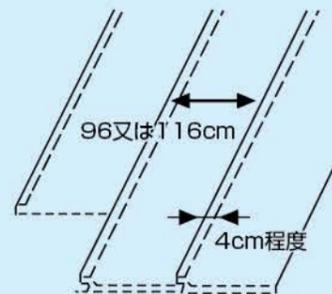
※詳細はシートトップのカタログを
ご参照下さい。

工程Aへ

塩ビシート防水



塩ビシート



判別方法

- ゴム弾性がなく、合成ゴムシートと比較して、伸縮性があまり無い。
- 機械固定工法と密着工法があり、様々な模様がある。
- 機械固定工法の場合、機械固定部は丸い塩ビシートが張り付けてある。
- ラッカーシンナーを垂らしても、変化しない。
- シートが着色されている。

※新設もしくは5年以内の塩ビシートへの塗装は避けて
下さい。

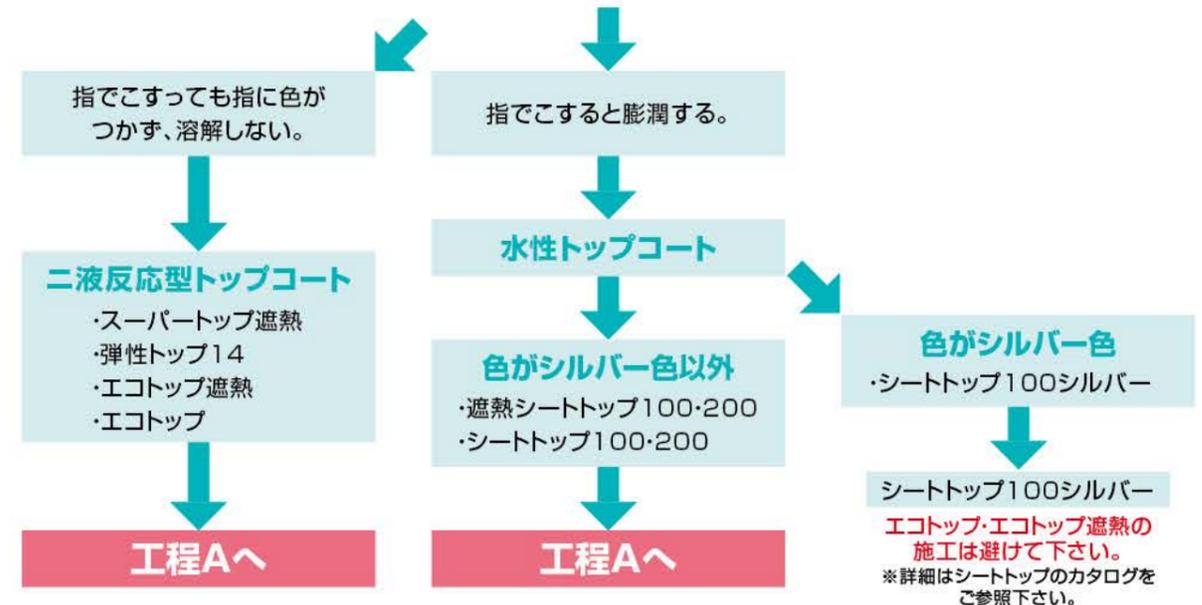
工程Bへ

ウレタン塗膜防水

判別方法

ラッカーシンナーを垂らして、指でこする。
※試験前に、水洗等で塗膜表面のチョーキングを除去、
活膜を露出した状態で確認を行って下さい。

※下記方法でも下地の種類が
判別できない場合は当社に
ご相談下さい。



その他防水層

アスファルト防水(砂付アスファルトルーフィング)



判別方法

- 表層に粗い砂の層がある。
- 低温でかたく、高温で柔らかい。



- ラッカーシンナーを垂らし指でこすると、アスファルト分が溶出し、黒褐色になる。

トップコートがある

水性エナメル
の
トップコート

工程Cへ

水性シルバー系
の
トップコート

シートトップ100シルバー

エコTOP・エコTOP遮熱の
施工は避けて下さい。

※詳細はシートトップのカタログを
ご参照下さい。

トップコートが
ない

工程Cへ

タール系防水材

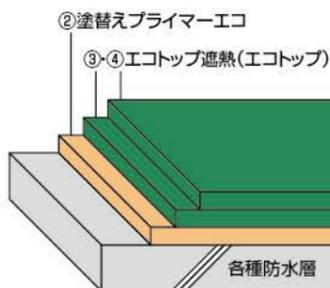
タール系防水材の場合は、防水材に含まれるタール類が表面に移行(ブリード)することがあります。試験の上、移行する場合は、施工を避けて下さい。

■工程A

■ウレタン防水面トップコート塗替仕様

■合成ゴム(加硫ゴム)シート防水面塗替仕様

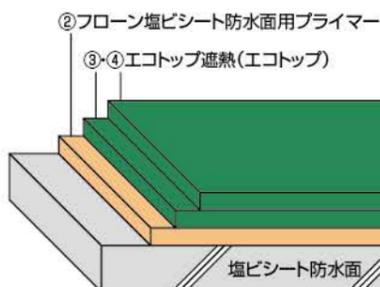
工法名	工程	材料名	使用量kg/m ²	上塗可能時間(23℃)	備考
■エコトップ遮熱 ■エコトップ	1	素地調整 (ウレタン防水面) (合成ゴムシート面)	-	-	ゴミ、土等の異物及び、密着不良塗膜を高圧洗浄にて完全に除去する。 (密着不良塗膜が残っている場合、層間剥離を生じる恐れがありますので完全に除去して下さい)
	2	塗替えプライマーエコ	0.10~0.15	4~24時間	A液:B液=1:10(重量比)の割合で計量、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	エコトップ遮熱(エコトップ)	0.12	4~48時間	A液:B液=1:7(重量比)の割合で計量、水道水にて0~5%希釈、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	エコトップ遮熱(エコトップ)	0.12	-	



■工程B

■塩ビシート防水面塗替仕様

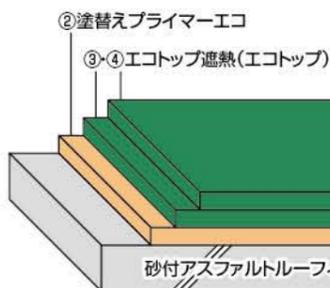
工法名	工程	材料名	使用量kg/m ²	上塗可能時間(23℃)	備考
■エコトップ遮熱 ■エコトップ	1	素地調整 (塩ビシート面)	-	-	ゴミ、土等の異物及び、密着不良塗膜を高圧洗浄にて完全に除去する。 (密着不良塗膜が残っている場合、層間剥離を生じる恐れがありますので完全に除去して下さい)
	2	フロン塩ビシート防水面用プライマー	0.10~0.15	5~24時間	主剤:硬化剤=10:1(重量比)の割合で計量し、電動攪拌機で3分間混合、攪拌した後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	エコトップ遮熱(エコトップ)	0.12	4~48時間	A液:B液=1:7(重量比)の割合で計量、水道水にて0~5%希釈、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	エコトップ遮熱(エコトップ)	0.12	-	



■工程C

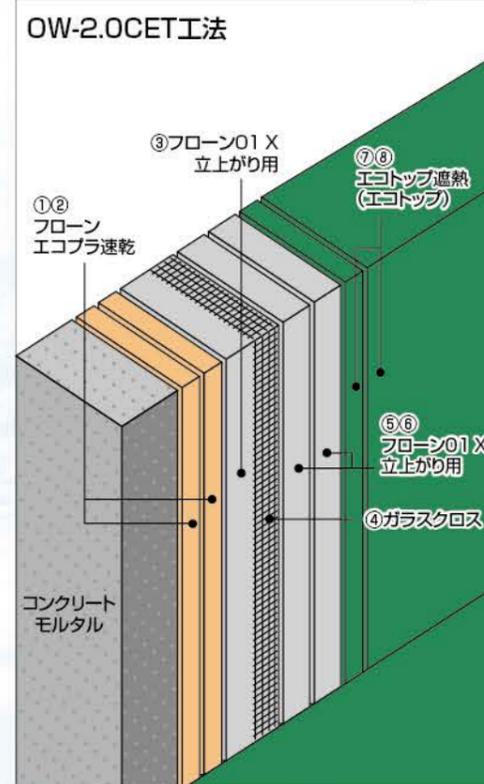
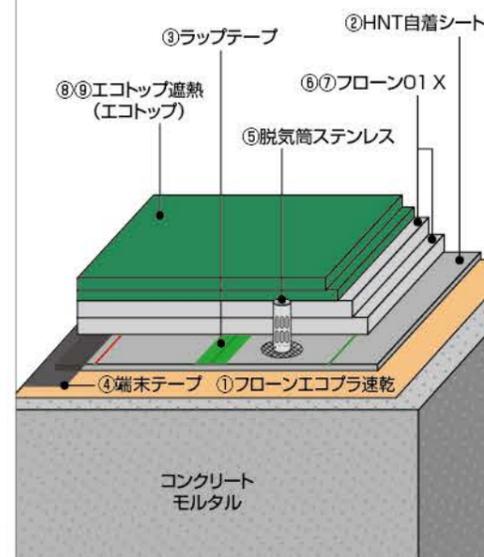
■砂付アスファルトルーフィング塗替仕様

工法名	工程	材料名	使用量kg/m ²	上塗可能時間(23℃)	備考
■エコトップ遮熱 ■エコトップ	1	素地調整 (砂付アスファルトルーフィング面)	-	-	ゴミ、土等の異物及び、密着不良塗膜を高圧洗浄にて完全に除去する。 (密着不良塗膜が残っている場合、層間剥離を生じる恐れがありますので、完全に除去して下さい。)
	2	塗替えプライマーエコ	0.15	4~24時間	A液:B液=1:10(重量比)の割合で混合し、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	3	エコトップ遮熱(エコトップ)	0.2~0.3	4~48時間	A液:B液=1:7(重量比)の割合で計量、水道水にて0~5%希釈、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	4	エコトップ遮熱(エコトップ)	0.2~0.3	-	



■フロン01X 特化則対応

工法名	工程	材料名	使用量kg/m ²	上塗可能時間(23℃)	備考
OW-4.2JSET工法 軽歩行用	1	フロンエコプラ速乾	0.2	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合し、電動攪拌機で十分に攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	2	HNT自着シート	-	-	HNT自着シートの離着フィルムを剥がし、転圧をかけながらシートを貼り付ける。
	3	ラップテープ	-	-	シートジョイント部分はラップテープを貼り付けて転圧する。
	4	端末テープ	-	-	自着シートの端末部分は、端末テープを張り付け、ガラスクロスとシーリングもしくはフロン防水材にて処理。
	5	脱気筒ステンレス	-	-	25~50㎡に1ヶの割合で取付け、取り合い部はフロンシーリングにて補強クロスを貼り付ける。
	6	フロン01X	1.9	24~48時間	原液のまま、コテ、砂骨材ローラーにて塗布。
	7	フロン01X	2.0	24~48時間	
	8	エコトップ遮熱(エコトップ)	0.12	4~48時間	A液:B液=1:7(重量比)の割合で計量、水道水にて0~5%希釈、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	9	エコトップ遮熱(エコトップ)	0.12	-	
OW-2.0CET工法	1	フロンエコプラ速乾	0.15	3~48時間	A液:B液=1:2(重量比)の割合で計量、混合し、電動攪拌機で十分に攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	2	フロンエコプラ速乾	0.15	3~48時間	
	3	フロン01X 立上がり用	0.3	直後	原液のまま、コテ、砂骨材ローラーにて塗布。
	4	ガラスクロス	-	24~48時間	前工程の直後に、浮き、しわが発生しないよう均一に貼り付ける。
	5	フロン01X 立上がり用	1.3	24~48時間	原液のまま、コテ、砂骨材ローラーにて塗布。
	6	フロン01X 立上がり用	1.0	24~48時間	
	7	エコトップ遮熱(エコトップ)	0.12	4~48時間	A液:B液=1:7(重量比)の割合で計量、水道水にて0~5%希釈、混合、電動攪拌機で攪拌後、中毛ローラー、ハケにて塗布。
	8	エコトップ遮熱(エコトップ)	0.12	-	



*事前に下地調査を必ず行って下さい。コンクリート・モルタルのエフロレンセス(白華)、レイタンス、砂、ゴミ、ホコリは、完全に除去して下さい。旧塗膜がある場合は、当社にご相談下さい。
 ※吸い込みの激しい下地の場合、フロンエコプラ速乾を3回以上塗布して下さい。